

2017春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 16

2017年2月23日

日本鉄道労働組合連合会

J R 九州労組が第1回交渉

**「月例賃金の引き上げこそが不可欠」**

**純ベアの実施にこだわり趣旨説明を行う**

～要求に十分応えることができる経営体力を有していると主張～

J R 九州労組は、2月15日に会社側と第1回団体交渉を行い、要求の趣旨説明を行った。

組合側は、景気回復を本流に乗せ、経済の自立的な成長を実現していくためには、月例賃金をはじめとした諸労働条件のさらなる向上が必要不可欠であるとした上で、2016年度第3四半期は、営業利益・経常利益は4年連続の過去最高の増益となっている。加えて、2016年度通期見通しを増収増益の上方修正を行っており、会社の経営体力は、我々の要求に十分応えることができるものを有している考え方を示した。さらに、株式上場して初めての春闘に組合員はもとより世間からも注目されている。熊本地震や災害による被災からの早期復旧・復興を成し遂げ、J R 九州グループ全体が一層成長していく環境を作り上げるためにも、グループ含めた人材の確保は重要であり、グループ労働者の賃金を含む労働条件の向上は欠かせず、J R 九州労組として今春闘においても、徹底してベアにこだわるとの態度を表明した。

これに対し会社側は、賃金は労使で議論した上で、支払能力を勘案し決定するものであり、今後の会社を取り巻く状況を労使で確認し、真摯に協議していきたいとの考えを示した。